

平成29年度 第1回 美濃市総合教育会議 会議録

1 開催日時

平成29年6月27日（火）午後4時00分～午後5時15分

2 開催場所

美濃市防災中央コミュニティセンター2階中会議室

3 出席者（構成員）

| | |
|--------|------|
| 市長（議長） | 武藤鉄弘 |
| 教育長 | 樋口宜直 |
| 教育委員 | 市原慶子 |
| 教育委員 | 藤川貴子 |
| 教育委員 | 西尾政徳 |
| 教育委員 | 中島正憲 |

4 事務局

| | |
|----------|------|
| 秘書課長 | 西部睦人 |
| 教育次長 | 澤村 浩 |
| 教育総務課長 | 井上博司 |
| 学校教育課長 | 山口敏則 |
| 人づくり文化課長 | 早戸智也 |
| 秘書課課長補佐 | 幅 仁史 |

5 報道関係者・傍聴者

報道関係者 0名 傍聴者 0名

6 会議事項

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 会議事項
 - ・平成29年度総合教育会議の運営方針について（意見交換）
 - ・平成29年度教育関係主要事業について（報告）
- 5 その他

7 会議録<開会 16:00 閉会 17:15>

| 発言者 | 発言内容 |
|--------|---|
| 西部秘書課長 | <p>定刻となりましたので、ただいまから第1回的美濃市総合教育会議を開催いたします。はじめに武藤市長がごあいさつ申し上げます。</p> |
| 武藤市長 | <p>みなさん、こんにちは。梅雨らしくなり、蒸し暑くなりましたが、本日は第1回的美濃市総合教育会議にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>一昨年から始まりましたこの総合教育会議が、美濃市の子どもたちの教育の一番大きな方針を立てる会議となり、この方針が各学校に伝わっていきながら美濃市の教育全体を支えていくこととなりますので、皆様の忌憚のないご意見等をお願いいたします。</p> <p>特に、テレビ等での話題は、子どもの貧困等、子どもを中心としたことが取り上げられており、高齢者へ使うお金に対し、子どもへは少ないということなどが騒がれている中、美濃市の子どもをどう支えていくか、PTAがどう考えているのか、美濃市の将来を支えるために子どもをどう育てていくかが課題だと思われま。そんな中、この会議を通じてより良い子どもたちをつくっていきたいと考えます。子どもの貧困ばかりが取り上げられるため、貧困だけが課題だと思われがちですが、東京都議会議員選挙でも、豊洲問題などではなく、最大の関心事は福祉医療や子ども子育て支援であります。今の状況を正確に科学的に把握し、色々な方々の目を見ていただきながら議論し、素晴らしい学校経営・子どもの育成に取り組んでいきたいと思っておりますので、本日はよろしくをお願いいたします。</p> |
| 西部秘書課長 | <p>次に樋口教育長からごあいさつ申し上げます。</p> |
| 樋口教育長 | <p>先ほどの定例会議に続き、総合教育会議をよろしく申し上げます。</p> <p>前年度は、英語科の問題について、夏休みはどうするかとか、緊急に取り組まなければならないことについて、ご意見をいただき、本年度反映することができています。今年度は、教育大綱をどう具現化していくか、そのために何をしなければいけないかをメインテーマとし、皆様のご意見をいただきながら、学校教育に反映させていきたいと思っております。</p> |
| 西部秘書課長 | <p>ここからは、美濃市総合教育会議設置要綱第4条に基づいて市長が議長となりますので、ここからの会議の進行をお願いします。</p> <p>それでは、市長よろしく申し上げます。</p> |
| 武藤市長 | <p>それでは、要綱に基づき議長を務めさせていただきます。</p> |

| | |
|--------------|---|
| <p>武藤市長</p> | <p>次第4の一つ目「平成29年度総合教育会議の運営方針について」を議題といたします。</p> <p>平成28年3月に策定された「美濃市教育大綱」は、策定から2年目を迎え、本格的に教育大綱の実現に取り組まなければなりません。</p> <p>また、美濃市の次世代を担う子どもたちのため、ふるさと美濃のため一つでも多く、少しでも早く具体的な取り組みを実行していくことが必要であります。</p> <p>まずは、「平成29年度総合教育会議の運営方針」についての説明を教育長からお願いします。</p> |
| <p>樋口教育長</p> | <p>【別紙資料により説明】</p> <p>「平成29年度総合教育会議の運営方針」について、主テーマは、教育大綱の具現化をどう図っていくかであります。</p> <p>そのために、何が必要なかを考えたときに、今の美濃市教育の現状・課題はどうなっているかを正確に理解・把握し、また分析的に捉え、それを踏まえ、子どもをより良く育てていくために何ができるかを皆様で協議をしていきたいと思い運営方針に挙げました。</p> <p>それを受け、年に4回の会議を予定しています。</p> <p>美濃市の現状と課題については、別紙資料の中ほどに、全国的傾向と美濃市の実態を対比できるよう列挙しました。</p> <p>貧困についてなどの▲印は、それほど問題ではない状況であることをご理解願います。</p> <p>特に○印の6項目については、美濃市の学校教育等の大きな課題と捉えています。</p> <p>まず、発達障がいについての児童生徒は、年々増加傾向にあります。</p> <p>要因として、昔と違い今は医学的にしっかり診断がなされることです。</p> <p>市としては、発達障がい又はその傾向にある子のために特別支援員を各学校に配置して支援しています。支援員は市全体で13名、その他に心の相談員3名を配置し、子どもたちへの手厚いケアに努めています。</p> <p>二つ目の特別支援学級については、市内で小学校7学級あり、美濃小学校2学級（知的学級と自閉情緒学級）、牧谷小学校（自閉情緒学級）、大矢田小学校（自閉情緒学級）、藍見小学校（自閉情緒学級）、中有知小学校（知的学級と自閉情緒学級）で開級しています。中学校は5学級あり、美濃中学校は3学級（知的学級1つ・自閉情緒学級2つ）、昭和中学校（自閉、情緒知的 各1つ）で開級しており、合わせて全12学級がございます。</p> <p>また、これとは別に通級指導教室を今年度美濃中学校に開級しています。在籍は通常学級で、その教室へ通って心の安定を図るものであります。</p> |

| | |
|-------|---|
| 樋口教育長 | <p>特別支援学級の入級は、各学校から出された様子を市の教育支援委員会で討議し、その子にとって望ましいと思われるアドバイスの書面を作成し、学校長へ送り、各家庭にお話をしていくものであります。</p> <p>入級が望ましいと言われても、保護者の同意が得られず、全てが入級するとは限りません。障害者差別解消法施行により、保護者との合意形成の上で理解を得て入級を進めている現状です。</p> <p>三つ目の学力について、4月に全国学習状況調査を行い、8月終わりには正式なデータがきますが、自己採点では、美濃市の小中学校は今年も上昇傾向にあると捉えています。</p> <p>課題としては、読解力、表現力が足りない児童生徒がいるため、伸ばしていかなければならないことです。</p> <p>四つ目の教員の多忙について、4月に文部科学省が中学校の6割以上の先生が勤務時間月60時間オーバーを公表しました。</p> <p>美濃市の状況として、5月の実績を説明します。</p> <p>5月はGW、就学旅行、宿泊研修があり、放課後の打ち合わせ等が長くなっていることを踏まえて聞いてほしいと思います。</p> <p>小学校では、60時間以上勤務は約36%、その内の80時間（過労死ライン）は13%、中学校では60時間以上勤務は約76%、その内の80時間は40%となっております。</p> <p>部活動についての土日の試合は、中体連のものは教員の引率は当然ですが、そのほかに各協会のものも多く、先生が監督でなければならないなどルールもさまざまであり、現在、教育委員会でその実態を調査中でありませぬ。</p> <p>五つ目のいじめについては、重大事態は発生しておりませんが、平成28年度の各小中学校からの事例は33件あり、主なものとして、ひやかし・からかいの実態があります。</p> <p>六つ目の不登校については、5月段階の小学校では、別室登校（保健室・教育相談室等教室とは違うところへの登校）の児童1名、10日以上の不登校児童は4名おります。中学校では、別室登校は6名（内、ほほえみ教室2名は、かなりの頻度で通い教室復帰を目指している）、不登校は4名おります。</p> <p>以上6つの課題について、皆様よりご意見をいただきたいと思ひます。</p> |
| 武藤市長 | <p>ただいまの教育長からの報告につきまして、教育委員の皆さんのご意見、質問など、どんなことでも結構ですのでご発言をお願いします。</p> |
| 中島委員 | <p>発達障がいについて、診断がなされ分かりやすくなったことで、同じ教室にその子がいて何か支障があるのか、特別支援学級への入級の方がその</p> |

| | |
|----------|---|
| 中島委員 | 子にとっていいのかどうかを説明願います。 |
| 山口学校教育課長 | <p>例えば、知的な障がいのある子は、一斉指導では、なかなか理解がしづらいため、個別に指導した方がその子にとっては理解が進んで良いと考えます。</p> <p>情緒の障がい等のある子は、大勢の中では集中できなかつたり、多動であつたりして集中力が継続しない子も、個別に指導した方が効果が上がるというメリットがありますが、その子がいることで、まわりの子が育つというケースもあるので、いちがいに離してしまうことが良いことではなく、集団性を学ぶ意味では通常学級へも行き、その子にとって一番良い条件をつくってやることで、入級を進めていきます。</p> |
| 中島委員 | 昔は発達障がいの子は、親との合意が得られないことや入れると恥ずかしいなどの理由で通常学級に入れることが多かったが、今も同じように親がネックとなることが多いですか。 |
| 山口学校教育課長 | 昔に比べれば、発達障がいに対する理解は進んでおり、その子にとって一番いい教育環境は何かということ、学校は保護者に働きかけており、社会全体もそのような動きがありますので、理解が進んでいると思いますが、やはり全てというわけではありませんので、発達障がいであることを認めたくない・集団の中で育てたいという保護者も多々あることは事実です。 |
| 中島委員 | 合意が得られない理由は、他人の目が気になるからなのか、親自身、子自身が通常学級でとの思いなのか、そのあたりはどうでしょうか。 |
| 山口学校教育課長 | いろいろだと思います。周りの目が気になる親もいると思いますし、その子のことを考えて集団の中で育てたい・隔離していたら育つべきものも育たない、というように逆に心配される親もいます。 |
| 中島委員 | <p>それぞれここにでている問題についての根本の原因が何かについては、学校教育が全て悪いことではなく、学校としてはいろいろな方策をとっているのですが、学校に全部押し付けるのではなく、それを周りがどうバックアップして子どものためになるように支援していけるかを考えないといけません。この中にある学力の問題においても、家庭教育の低下についてを見直すことで学力アップさせることを考えていかないといけないのではないのでしょうか。</p> <p>市長の言われた貧困の問題についても、美濃市にはないかもしれない</p> |

| | |
|------|---|
| 中島委員 | <p>が、目に見えない部分の貧困（お金ではなく心の貧困）、貧乏だから大学へ行けないのではなく、その子の意欲があれば大学へでも行けた時代の中にあって、今はなぜなのかを考えた時に、その子の意欲・忍耐・努力が足りないなど、いろいろな問題は、家庭教育の低下にあることを、学校で対応するという風潮を見直して、具体的方向性を示さないと、子育てから学校に任せることになってしまうので、学校と家庭の役割区分けをしていかなければならないのではないかと感じます。6つの課題全部に通じている気がします。教師の多忙においては家庭からの不満（本当にいじめなのかどうか親が正確に判断できていない状況で、うちの子はいじめられているなど）が原因であり、部活動の問題も、親がいないと成り立たないなど、親の都合が原因であり、不登校の問題も家庭での育て方に原因があるのではというように全部に絡んでいるように思います。</p> |
| 武藤市長 | <p>我々としては、これは学校で何かしたほうがよいとか、教育委員の段階で何かしたほうがよいとかを、ここで皆さんの意見を聞き、決めていければと思います。</p> <p>昔と比べることは大切ですが、マスコミ等の情報しかなく、全部が正しいかどうかは分からないので、現在のこの課題について、そのとおりであるかそうでないかを判断してもらい、次回までにその方策として、学校教育と家庭教育で対応する施策を決めるにあたり、それぞれの想いを言っていたきたいと思います。</p> |
| 藤川委員 | <p>発達障がいについては、一時前の親より知識がずいぶん入っているように思います。その子が同じ学級にいることによって、他の子の勉強が進まなくなったりすることで、本人も親も辛い思いをしたり、それが原因でいじめに発展することもあるため、発達障がいや高機能障がいは、こういうものであるという事案を、学校・教育委員会・保健センターなど関係各所で連携して出し、分かってもらうことが大事だと思います。今は両親が働いている家庭が多く、しつけができてないことによっていじめとなる現象が起こると思うので、子どもが小さい頃から教えていかないといけなし、一方的に伝えるのではなく、そういう人たちとの交流も必要に思います。例えば、特養とか老健などに行くことはあっても、陽光園やひまわりに行くことは少ないと思います。私の子は金竜小学校の時にはひまわりの子と毎月給食を一緒に食べる機会があったり、運動会では一緒に競技をしたりしました。そういうことで、自然に受け入れていくことができるのではないのでしょうか。</p> <p>部活動についても、先生は多忙のため、一括して民間に委託することも必要ではないかとも思います。</p> |

| | |
|------|--|
| 市原委員 | <p>発達障がいについて、昔と違い、理論的・医学的に認識できるようになって、地域の連携が必要であると思います。現在は女性の地位の向上の施策により、母親が外に出て働くようになったが、父母の愛情がすごく大切に、子が帰ってきたときの「お帰り」などの声かけや夕食をつくる音などが情緒に良い影響を与えると聞いたことがあるので、帰って来てもだれもいないくてコンビニで済ませるような孤立化した中で育つことが、将来、社会でうまくやっていけないことになるのではないかと思います。</p> <p>発達障がいの子についても重要で、昔の統合教育のように、子ども同士の中で理解し合うことが大事だと思うので、その子たちとの交流をしながら、その子たちとのふれあいの中で分かり合えることが大切だと思います。</p> <p>学力を上げることも大切ですが、子どもは情緒が安定して社会へ出た時に仲間とうまくやっていくためには、家庭での教育が重要であるので、女性が外で働く施策だけではなく、そういった子をどうやって家庭で受け入れていくかとかの施策を変えていけるよう、親・地域・社会の役割を見直していただければと思います。</p> |
| 西尾委員 | <p>市長からの東京都議会議員選挙の話にもあったように、テレビで情報が出るとそれがいかにも全国的に重要であるかのように見えるが、実はそれほどでもなく、振り回されることがありますが、美濃市には独自の実態があり、利用するところは利用して、そうでないものは選別して必要なものだけ学校へおろすことが重要であると思います。</p> <p>幼稚園への待機の問題についても、美濃市ではないため、認定子ども園のことも含め、今の待機することなく入れる状況を、より有利なるように進めると良いと思います。</p> <p>子どもは、幼児期の方が変われると思うので、力を入れるのなら、その時期に集中した方がよいと思います。</p> <p>学力についても、英語は重要だが、実際生きていく上で日本語を聞いて話すコミュニケーション力が一番重要なことで、そこから始めないと、大人になってもひきこもりになってしまうとか、就職しても辞めてしまうことになるため、小さい頃に集中して行なうことが大切だと思います。</p> |
| 武藤市長 | <p>保育園の会議において、各園に英語の先生を置けないので、市が採用し（費用は市で負担）、どこかの園に配置し、各園を1日ずつ回り、「英語と遊ぼう」（年長組の会話）ということをお願いしたが、協力が得られなかった。</p> <p>発達障がいについては、美濃中学校から発達障がいのある子が卒業したが、ほとんどの生徒が高校進学する中、特別支援学校高等部への進学は難</p> |

| | |
|----------|--|
| 武藤市長 | <p>しいのではなど、その子はこれからどうするのだろうと不安になりました。その子の将来を考えたら、小学校までいいにしても中学校になったら、親としても特別支援学校に進学させ、次のステップに行けるようにした方が良くはないかと思えます。</p> <p>障がいを持つ子どもに対して、放課後等デイサービスといった制度があり、関市の施設へ通うのに、一人200万円の費用が必要であり、国・県からの補助で行なわれている状況です。もう少し上手な税金の使い方はないかと思っているところです。</p> <p>スマホの使い方についてですが、長良東中学校において学生が中学生に教えるという事がありました。美濃市では青少年育成市民会議と青少年育成推進委員会が企画して、美濃中学校で教えるということがあります。</p> |
| 中島委員 | <p>学校教育の成果は上がっており、子どもたちの自主性も出ている中、それに対して周りがどう支援できる状態なのかを考えることが重要です。</p> <p>連携が学校への圧力・命令・要望となってしまうことがあるため、教育大綱をつくるにあたって、学校とそれ以外（親・一般）の境がどうしてもでてくるので、それを考えていかないと、教育大綱に沿ったものをやろうとすると無理が生じるので、連携とは何か、どういう支援・協力をし合ったら良いのかを考えなければならないと思えます。</p> <p>お互いどこで接点を見出すか、学校のやりたいことを重視するなら、それに皆で協力していき、親が思っていることを実現しようとするなら、学校が歩み寄ってもらわないといけないため、そこがはっきりしていないので、どこか聖域ができてしまい、そういうところを無くしていかなければならないと思えます。</p> <p>もう一つは、個人情報の問題が大きな関わりを持っていて、子どものいじめ（大津のいじめの事件）においても、親たちが、起こった事をもっと開示してほしいのに、学校側・第三者委員会が開示しないため納得がいかないことがあったそうなので、そういう壁がない形づくりを学校と親・地域が行なわなければならないと思えます。</p> |
| 武藤市長 | <p>教育大綱はどこまで（だれ）に配ってあるのですか。</p> |
| 山口学校教育課長 | <p>学校職員には全員、PTA（全員）、市民会議などです。</p> |
| 武藤市長 | <p>少なくとも毎年配って、子どもに、大綱の中での何か意見を親に訊いてくるよう宿題を出せば、親は読まざるを得ないのではないか。</p> |
| 西尾委員 | <p>教育大綱に意見をとられても、言う人はいないように思います。</p> |

| | |
|----------------------|--|
| <p>西尾委員 武藤市長</p> | <p>広報でさえもあまり見ない状況であり、必要な人しか見ないのでは。そのとおり、意見はでないと思いますが、少しでも皆に見ていただきたいと思います。</p> <p>結論ができませんので、持ち帰っていただき、教育委員会の中で話し合っていたいただいても結構ですので、よろしくをお願いします。</p> <p>予算の関係もあり、特に次回までをお願いしたいことは、この中で全部はできませんが、具体的に施策として打ち出して、やらなければならないこと、例えばこれだけはやった方が良くと思うことを決めてください。</p> <p>もう一つは、英語教育について、3年先ですが既に取り組んでいる市町村もありますので、美濃市として先行的に取り組むものかどうかも含め、実施段階では教員（講師）が集まらないため、英語担当教員の早目の対応をお願いします。</p> <p>教員の多忙については、どこかの町では夏休みを10日間にした件があり、両方の考え方があり、難しいとは思いますが、そこまで考えてやろうとしている教育委員会もあるので、いろんな考え方をしてよいことを勉強させてもらいました。</p> <p>もう一つは、奨学金については、3,000万円あるが、今使わないと意味がなく、10年間で使い切り、年間300万円くらいの奨学金を出しても良いと思っており、貸付型か給付型か、美濃市に帰って来て住んでもらう人にはどうしたらよいかも含め、早めに結論を出して来年度の高校・大学へ行く子どもたちに対して行なっていきたい。</p> <p>300万円または150万円出せば大分楽になる子どもたちが出てくるのではないかと。300万円出しても良いが、ただ美濃市に帰ってきてもらわないと寂しいような気もしますが、そういったことも含め、奨学金の仕組みを次回までをお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、二つ目の議題つきまして、簡略に説明をお願いします。</p> |
| <p>井上教育総務課長</p> | <p>それでは、資料2でございますが、平成29年度教育関係主要事業につきまして、3課から簡略に説明させていただきます。</p> <p>まず最初に、学校教育課からお願いします。</p> |
| <p>山口学校教育課長</p> | <p>【別紙資料により説明】</p> <p>主な事業について、3つ説明させていただきます。</p> <p>一点目は今年度で27回目を迎える土幌町との交流事業ですが、6年生の希望者全員が派遣されます。いろいろ変遷を続け、現在の形になっております。徐々に成果も明らかになってきており、今行く子の親も行っている27回目であり、かなり市に根付いたものとなっています。</p> <p>重点としては、別紙のとおりであり、今年度は115名が行き、土幌町</p> |

| | |
|------------|--|
| 山口学校教育課長 | <p>からは50数名が美濃市へ訪問されます。今後は、連絡を密にとりながら進めてまいります。</p> <p>二点目、小学校における小人数指導等また個別支援体制充実ですが、市の予算から人材を配置し、学力の向上・心の安定を図るということで取り組んでいます。小人数指導・特別支援の先生共に指導力を上げていることで、学力や心の安定に繋がっていると思います。今後も、一人一人に応じたきめ細やかな指導や支援を進めてまいります。</p> <p>三点目、アマルフィ市中学校交流事業（新規）ですが、今年度より着々と進めており、中学校の一部の子ではありますが、国際性豊かな人材育成、アマルフィ市との交流を一層深めるということで取り組んでまいります。</p> <p>今後、市長から激励をいただき、7月～10月にかけて5回事前研修会を行い、美濃市の紹介などの簡単なプレゼンを作成し自身をもって交流できるように準備していきます。10月14日から20日まで、報告会も予定しています。</p> |
| 早戸人づくり文化課長 | <p>【別紙資料により説明】</p> <p>続きまして、人づくり文化課ですが、二つ説明させていただきます。</p> <p>一点目は美濃和紙産業を支える用具類ミュージアムの整備ですが、先ほど教育委員会で説明いたしましたので割愛させていただきます。</p> <p>二点目、青少年健全育成市民会議の組織改編と確立ですが、平成26年度の市民のつどいの中で、再編成をうたったものを着実に実行していくということで、今年度は中央公民館の中に人づくり団体推進室をつくり、市民会議や教育・福祉団体の窓口を設けました。ここを核にして各種団体の連携等を図りながら事業を推進していきたいと思っております。</p> <p>今年度は、7月14日に連合PTAと共同開催にて考えるつどいを行います。教育委員の皆様にも是非ご協力いただき成功させ、この流れを11月の市民のつどい、2月のわたしの主張大会等に繋げていきたいと思っておりますのでご協力をお願いします。</p> |
| 井上教育総務課長 | <p>【別紙資料により説明】</p> <p>それでは、最後のページになりますが、教育総務課です。</p> <p>小・中学校大規模改造事業をご報告いたします。</p> <p>いずれの7校共、老朽化が進んでいるため、児童・生徒の安全・安心で快適な学校生活が送れるように計画に基づいて、長寿命化の改修を図っていききたいと思います。</p> <p>今年度につきましては、2ヵ年で美濃小学校の校舎の全面改修を予定しています。平成29年度は南舎・北舎の外壁・屋上を全て改修いたします。</p> <p>校舎内については、南舎の西側（国道側）17普通教室及び廊下・階段</p> |

| | |
|----------|--|
| 井上教育総務課長 | <p>について、天井・内壁・床等全て改修を図っていきます。</p> <p>来年度以降は、残りの内部について予定をしています。</p> <p>この後、順次各学校へ入ってくると思いますが、あと一ヶ月後くらいになるかと思いますが、工事に入りますのでご承知おきいただければと思います。</p> |
| 武藤市長 | <p>ただ今の説明について、何かご意見・ご質問はございませんか。</p> |
| 武藤市長 | <p>ないようですので、本日は、平成29年度の第1回目ということで、課題に対する共通認識等を中心に議論していただきました。</p> <p>次回までに、来年度事業についての方向性を定めていただきますようご検討をお願いいたします。</p> <p>それでは、議長の任を解かせていただきまして、事務局へお返しします。</p> |
| 西部秘書課長 | <p>それでは、以上で第1回の総合教育会議を閉会といたします。</p> <p>慎重なご協議をどうもありがとうございました。</p> |

平成29年度 第2回 美濃市総合教育会議 会議録

1 開催日時

平成29年11月24日（金）午後4時00分～午後5時10分

2 開催場所

美濃市防災中央コミュニティセンター 2階 中会議室

3 出席者（構成員）

| | |
|--------|------|
| 市長（議長） | 武藤鉄弘 |
| 教育長 | 樋口宜直 |
| 教育委員 | 西尾政徳 |
| 教育委員 | 中島正憲 |
| 教育委員 | 市原慶子 |
| 教育委員 | 藤川貴子 |

4 事務局

| | |
|----------|------|
| 教育次長 | 澤村 浩 |
| 教育総務課長 | 井上博司 |
| 学校教育課長 | 山口敏則 |
| 人づくり文化課長 | 早戸智也 |
| 秘書課長 | 西部睦人 |
| 秘書課課長補佐 | 幅 仁史 |

5 報道関係者・傍聴者

報道関係者 0名 傍聴者 0名

6 会議事項

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 会議事項
○教育大綱の進捗状況について
- 5 その他

7 会議録＜開会 16:00 閉会 ＞

| 発言者 | 発言内容 |
|----------|--|
| 西部秘書課長 | <p>定刻となりましたので、ただいまから平成 29 年度第 2 回的美濃市総合教育会議を開催いたします。はじめに武藤市長がごあいさつ申し上げます。</p> |
| 武藤市長 | <p>みなさん、こんにちは。本日は教育委員会に引き続き、平成 29 年度第 2 回的美濃市総合教育会議ということでよろしくお願い申し上げます。</p> <p>前回の会議では、皆様のいろいろなご意見をいただきましたが、総合教育会議のできた理由は、多方向から真の教育を見つめ直すことであり、文部科学省の指示どおりではなく、美濃市独自の人口に見合ったものとし、意見の集約や瞬時の決定など小回りの利く会議を目指していきます。</p> <p>特に、いじめや土曜授業の問題など保護者の方々が課題としていることを話し合いながら進めていきます。</p> <p>本日の記者会見においても、子どもに対する支援を重点の展開していくことを示したので、この会議でいろいろなアイデアをいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> |
| 西部秘書課長 | <p>次に樋口教育長からごあいさつ申し上げます。</p> |
| 樋口教育長 | <p>みなさん、教育委員会定例会に引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>教育大綱策定にあたりましては、皆様より貴重なご意見を頂き仕上がりましたが、平成 28 年度の 1 年目は、学校への周知、それを受けてどう取り組むかを協議し、本年 4 月からは具体的な取り組みを始めております。</p> <p>平成 29 年度上半期の取り組みと評価その理由等を資料として配布させていただきましたので、ご意見等をお願いいたします。</p> |
| 西部秘書課長 | <p>ここからは、美濃市総合教育会議設置要綱第 4 条に基づいて市長が議長となりますので、ここからの会議の進行をお願いします。</p> <p>それでは、市長よろしくお願い申し上げます。</p> |
| 武藤市長 | <p>それでは、要綱に基づき議長を務めさせていただきます。</p> <p>次第 4 に入りたいと思います。「教育大綱」の策定から 1 年 6 か月が経過しましたが、その進捗状況を基本目標ごとに実現に向けた取り組み、評価、課題等について事務局から説明をお願いします。</p> |
| 山口学校教育課長 | <p>【別紙資料により説明】</p> <p>「基本目標 1 学びづくり」及び「基本目標 2 心づくり」を「1 習熟度(少人数) 指導」も用いて説明</p> |

| | |
|------------------------|---|
| <p>早戸人づくり 文化課長</p> | <p>「基本目標3 生きがいづくり」及び「基本目標4 地域づくり」をどんな課題があるかについて説明する。</p> |
| <p>武藤市長</p> | <p>評価の度合い（○×△）の基準において、各目的の達成度ではなく事務事業評価として解釈します。</p> <p>各評価について、教育大綱の目的の達成度としての評価としなければならないのではとの意見を述べる。</p> <p>教育委員として、この課題、評価について、全体として上がっているのか、横ばいなのか、下がっているのか等の意見をお願いします。</p> |
| <p>市原委員</p> | <p>現在では、親も子も忙しく、子どもたちに対する地域の方からの声かけなどが、プライバシーの侵害につながってしまう世の中であり、教育大綱の策定においても、それに関わる方は一生懸命であるが関心のない方もいる。すぐには結果が出るものでもない。あかりアート展でも同様である。</p> <p>金銭的な支援だけではなく、子どもたち一人ひとりの個性を伸ばすよう、行政、大綱により教育環境、家庭環境、地域環境を充実させることが大切である。また、未来への投資が必要で子どもへのソフト事業の展開がもっと必要ではないか。</p> |
| <p>中島委員</p> | <p>学校教育では、「市民のつどい」、「わたしの主張大会」での子どもたちを見ても分かるように成果が上がってきている。</p> <p>学力向上の成果としては学力テストの点数が一番明確だと思うが、市民に公表をしなければ理解は得られないのではないか。</p> <p>「人づくり」については、市民会議で総合的に行おうとするにあたり、各団体からは要望などによる市民会議に対しての批判となってしまう、各団体の協力的な関わりを望んでいる。組織としての一元化はしたものの、今後は、地域としての環境を整えるにあたり親の意識を変えることが大切であり、皆が同じ方向性の基で、活動内容の一元化を目標とする。</p> <p>家庭環境や親の学歴に関係なく、「カエルの子はカエル」ではないことを教えていく、固定観念を無くす取り組みも必要ではないか。</p> |
| <p>藤川委員</p> | <p>孫の様子を見ていて思うことは、先生の教育への姿勢が子どもに影響していると思う。自分でどう行動するか考えることが大切である。</p> <p>市民会議の課題についても、その考えができない方が、団体の指導者になっているからだと思う。一つひとつの団体の色が強すぎると思う。</p> <p>今後の指導要領改正に伴い、授業時間が増加することは子ども、教員への負担が益々増えることになるのではないか。</p> |

| | |
|--------|---|
| 西尾委員 | <p>教育大綱の課題及び評価については重点項目等具体化されている。</p> <p>教育大綱評価の公表に向けてはその基準を明確にしていく必要はあると思う。また、評価に応じて大綱も改正していかなければならない。</p> <p>目に見える評価として、学力テストの公表については今後どう対応していくかを考えなければならないと思う。</p> <p>美濃市独自の教育においては、美濃市の先生はすごいと思われるようなものにしてほしい。</p> |
| 武藤市長 | <p>行政がお金を使って教育大綱を策定し実現しようとする場合、その費用対効果を市民へ示すことが必要です。</p> <p>学力テストの評価について、同じ子どもの学力の変化ではなく、今年の者と去年の者との比較となっており意味がないと思う。学力向上について何かよい考えをお願いしたい。</p> <p>教育大綱への評価は必要であり、定期的に評価し、直すところは直していく。今回は、学校現場の感想としての○×△の評価であり、不完全ではあるが、概ね良い評価だと思う。</p> <p>記者会見では、英語教育の充実を発表した。新年度は英語教育を推進していく考えですので、ご協力をお願いします。</p> <p>子どもたちには、少しでも英会話ができるようにしてあげたい。日常会話程度は英語でできるようにしていきたい。</p> <p>次回は、今日のご意見の中で選び、特に来年度へ向けた課題、あるいは長期的に3年後4年後に向けて今取り組まない間に合わない課題について皆様からご意見を頂きたい。</p> <p>総合教育会議での意見を実現できるよう新年度予算要求前に開催していきたいと考えています。また、4月から5月初旬頃にも開催し、新年度事業の説明とその方法論を協議する総合教育会議を開催したいと思います。</p> <p>それでは、本日の協議はこれで終了いたします。それでは、議長の任をとかせていただきます。</p> <p>皆様のご協力のおかげで会議を順調に執り行うことができました。</p> <p>ありがとうございました。事務局へお返しします</p> |
| 西部秘書課長 | <p>それでは、以上で第2回の総合教育会議を閉会といたします。</p> <p>慎重なご協議をどうもありがとうございました。</p> |